



ロータリー2024～2025年度
第2840地区 2024～2025年ロータリーのテーマ

会員一人一人が主役、つながりを広げ、 さあ行動しよう

館林ロータリークラブ会報

R.I加盟承認 1958年6月2日
Club ID 13956

2025年3月28日(土) 第3233回例会報告 (No. 36)

点鐘・ソング 奉仕の理想 — 会長挨拶 —



関井 宏一 会長

皆さん、改めましてこんにちは。
まず、当会員の多田善洋会員が、再選ということで嬉しいニュースが入っていると思いますが、そういった意味で引き続きロータリー活動と市政含めてご尽力して頂きたいと思います。また、ニマ君のほうの情報で、長柄ファシリテーターのほうからラインで情報が流れたかと思いますが、色々メディアのほうに出て、非常に活躍して頂いて、引き続き頑張ってくださいと思います。本日はまた、地球環境課の亀山智弘主任と、永井汰一主事補がお見えになっています。今日地球環境課ということで、ロータリーも水と衛生の月間ということで、2014年に国際宇宙ステーションで、ロシアの乗組員が窓を閉じたそこに水滴がついていて、その窓に海洋プランクトンがいたということでニュースになったのですが、その調査というのが、近くを通り過ぎた彗星の水が窓に付着して、そのどうやら水の中にプランクトンが入っていたということらしいのです。やはり地球の水は彗星が地球に衝突して、何度か繰り返していくうちに、数千万年とかですね。そういった年を経て、おそらく今の安定した水質等になっていったのかなというふうに思います。やはり、今非常に海洋汚染も進んでおりますし、そういった部分で、水が当たり前のようにあるような気が

しますが、近くの星、水のある星は地球以外にはなかなか無いと思いますが、限られた資源を大事に、そして次世代に引き継いでいけるようにロータリークラブもSDGsという概念をもって、行動して提唱していますので、そういった部分を実践していければと思います。来週ですが休会になりますので、大変申し訳ございませんが、宜しくお願ひ致します。来週は健康診断がありますので、そちらのほうに時間を費やして頂ければというふうに思います。本日、環境に関するお勉強ができると思いますので、ぜひよろしくお願ひします。以上です。

— お客様のご紹介 —

館林市役所 地球環境課 環境政策課
主任 亀山 智弘 様
主事補 永井 汰一 様

米山奨学生 シェルパ・ニマ・テンディ 様

— 会務報告 —

関井 宏一 会長

R 7. 3. 27 (木) 国際大会説明会
於・ガバナー事務所

参加者 上野 和路

今後の予定

R 7. 3. 29 (土) 伊勢崎中央RC創立50周年記念式典 於・境総合文化センター/ニューいづみ

対象者 山本 樹・小堀 良武

R 7. 3. 31 (月) 国際ロータリー元理事 重田政信 儀 偲ぶ会 於・ホテルメトロポリタン高崎

対象者 宮内 敦夫・小暮 雅丈・本島 克幸

R 7. 4. 6 (日) 安中RC創立60周年記念式典 於・ホテル磯部ガーデン

対象者 本島 克幸・小堀 良武

R 7. 4. 12 (土) 前橋南RC創立40周年記念式典 於・前橋商工会議所会館

対象者 関井 宏一・小堀 良武

R 7. 4. 18 (金) インターアクト交流事業歓迎会
於・高崎健康福祉大高崎高等学校

R 7. 4. 19 (土) 館林ミレニアムRC創立25周年記念例会
於・文右衛門ホール
対象者 関井 宏一・小堀 良武・上野 和路
大澤 孝司・毛塚 宏・小暮 高史
小暮 雅丈・正田 隆・多田 善洋
長柄 純・宮内 敦夫・谷田川敏幸
山本 樹

R 7. 4. 19 (土) (公財) 米山梅吉記念館春季例祭
於・米山梅吉記念館ホール

R 7. 4. 19 (土) インターアクト国際交流事業「さよならパーティ」
於・高崎エテルナ

R 7. 4. 19 (土) 令和7年度館林市子ども会育成団体連絡協議会定期総会
於・館林市文化会館小ホール

対象者 本島 克幸

R 7. 4. 20 (日) 継続米山記念奨学生資格面談
於・前橋問屋センター会館

対象者 米山記念奨学生 シェルパ・ニマ・テンディ
R 7. 4. 20 (日) 新規米山記念奨学生・
カウンセラーオリエンテーション・米山記念奨学委員会
於・前橋問屋センター会館/福州飯店

対象者 飯塚 一成・齊藤 一則

R 7. 4. 24 (木) 第4分区A・B10クラブ
親睦チャリティゴルフ大会
於・太田双葉カントリークラブ

対象者 関井 宏一・飯塚 一成・石川 長司
小池 和敏・鈴木 誠・田部井孝一
中世 吉昭・藤島 厚・本間美儀男
本島 克幸・安間 崇人・谷田川敏幸
山本 樹

R 7. 5. 10 (土) 職業奉仕・国際奉仕・地域
社会奉仕セミナー
於・桐生商工会議所

対象者 関井 宏一・小堀 良武・本島 克幸
谷田川敏幸・飯塚 一成・関口 昇
正田 隆

R 7. 5. 18 (日) 地区研修・協議会(クラブ・リ
ーダーシップ・ラーニングセミナー)
於・群馬音楽センター/ホテルグランビユー高崎

対象者 本島 克幸・藤島 厚・長柄 純
磯野 哲也・谷田川敏幸・飯塚 一成
本間美儀男・齊藤 一則・矢島 孝昭
根岸 利正・宮内 敦夫・山本 樹
長柄 光則・荒木千津子

R 7. 5. 24 (土) ~ 25 (日) 親睦旅行
於・福岡方面

R 7. 5. 31 (土) 第9回日台ロータリー親善
会議札幌大会 於・グランドメルキュール札幌大通公園

R 7. 6. 4 (水) 現新会長・幹事会
於・未定

対象者 関井 宏一・小堀 良武・本島 克幸
藤島 厚・宮内 敦夫・事務局

R 7. 6. 13 (金) 第4分区Bガバナー補佐ク
ラブ訪問 於・ニューミヤコホテル館林

R 7. 6. 21 (土) ~ 25日 (水) 国際大会
於・カルガリー(カナダ)

R 7. 6. 22 (日) RI理事主催親善朝食会
於・ハイアットリージェンシーホテル

一 幹 事 報 告 一



小堀 良武 幹事

1. 例会場・例会時間の変更

◆富岡中央RC

4月17日(木) → 夜間例会
点 鐘 18:30
会 場 甘楽ふるさと館

◆藤岡RC

3月27日(木) → 藤岡3RC合同清掃活動
時 間 10:00~11:30
会 場 ららん藤岡

4月10日(木) → 4月8日(火)お花見親睦夜
間例会
点 鐘 18:00
会 場 埼玉国際ゴルフ倶楽部

4月24日(木) → 休 会(定款第7条第1節
(f)により)

5月1日(木) → 休 会(定款第7条第1節
(d)により)

5月29日(木) → 休 会(定款第7条第1節
(f)により)

6月12日(木) → 6月10日(火)さよなら例会
点 鐘 18:00
会 場 埼玉国際ゴルフ倶楽部

6月26日(木) → 休 会(定款第7条第1節
(f)により)

◆藤岡南RC

3月28日(金) → 3月27日(木)藤岡3RC合
同清掃活動
時 間 10:00~11:30
会 場 ららん藤岡

4月4日(金) → 休 会(定款第7条第1節
(f)により)

4月18日(金) → 休 会(定款第7条第1節
(f)により)

◆沼田RC

4月8日(火) → 休 会

4月29日(火) → 休 会

5月6日(火) → 休 会

2. 会報、週報
3. その他

◆ガバナー事務所

- ①新会員セミナー・交流会アンケートご回答のお願い
②職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕セミナーのご案内

【日 時】5月10日(土)

登録受付 13:00~13:30

講演会 13:40~15:10

質疑応答 15:10~15:20

【会 場】桐生商工会議所 4階 ケービックホール

【講 師】国立大学法人群馬大学

副学長 板橋 英之 氏

【登録料】無 料

【対象者】会長・会長エレクト・幹事奉仕委員長

※欠席の場合は代理の方のご出席をお願い致します。

※各クラブ4名以上のご参加をお願い致します。

◆(公財)米山梅吉記念館

- ①「館報 Vol. 45 春号」のご送付

- ②賛助会ご入会のご案内

賛助会員 1. 米山記念館コーポレーター(クラブ単位)

会費 1口 10,000円/年

2. 米山記念館フェロー(個人単位)

会費 1口 3,000円/年

特別寄付 個人、団体、法人、クラブ、地区等の記念事業や周年行事等の一般のご寄付

金額的な区切りはありません

- ③春季例祭のご案内

【日 時】4月19日(土) 開 会 14:00

【会 場】米山梅吉記念館ホール

【講 師】金井 潤 氏(三井不動産株 総務部 総務グループグループ長)

【登録料】無 料

◆花と緑の館林づくり協議会

花と緑のフェスティバル2025ご協賛のお願い

【1口】10,000円~

今年度より、3口30,000円以上のご協賛の場合は、チラシにも企業名・団体名を掲載いたします。

◆群馬県道路管理課

道路占用物件の適切な維持管理についてのお知らせ

— 委 員 会 報 告 —

例会出席報告



出席・ニコニコBOX委員会 森田 信一郎 委員長

通算3233回例会

会 員 数	54名
出席率算出会員数	51名
出席者数	33名
欠席者数	18名
出席率	64.71%
前前回修正	71.15%~76.92%

— ニ コ ニ コ B O X —

☆関井 宏一会长

大変頂きました

多田善洋会員の再選を祝して。また本日は館林市役所地球環境課亀山智弘主任、永井汰一様卓話ありがとうございます。

☆上野 和路会員

大変頂きました

多田会員、2期目の市長選勝利おめでとうございます。

☆横田 善次会員

頂きました

多田市長、4年間頑張ってください。

☆松本 隆志会員

頂きました

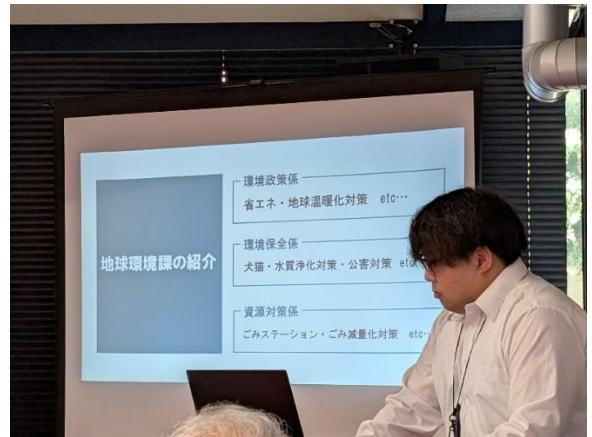
県議会も先週閉会し、久しぶりに参加させていただきました。

— 卓 話 —



プログラム・健康増進 今泉 始宏 委員長

当科は環境政策係、環境保全係、資源対策係の3つの科で構成されております。



環境政策係では省エネや地球温暖化対策の推進、熱中症対策にも取り組んでおります。環境保全係では犬の登録や、犬猫の去勢手術の助成、水質浄化対策、公害対策など様々な業務を担当しております。資源対策係では、ゴミステーションや収集に関すること、またごみ減量化対策など廃棄物全般に関する業務を担当しております。それでは本題に入らせていただきます。



館林市役所 地球環境課 環境政策課
主任 亀山 智弘 様
主事補 永井 汰一 様

改めまして地球環境課の亀山でございます。宜しくお願ひ致します。なかなかこういった場でお話させて頂く機会がございませんので、大変恐縮でございます。お聞き苦しい点等あるかもしれませんが、ご容赦いただけますと幸いです。宜しくお願ひ致します。

それで十五分から二十分くらいで、館林の環境についてということで、本日は本市の環境行政につきまして大まかではございますが、ご紹介させていただきます。



本日の内容の1環境の現状について3つのテーマに分けてご説明させていただきます。環境の現状1つ目ですが、地球温暖化に関わる二酸化炭素の排出量です。

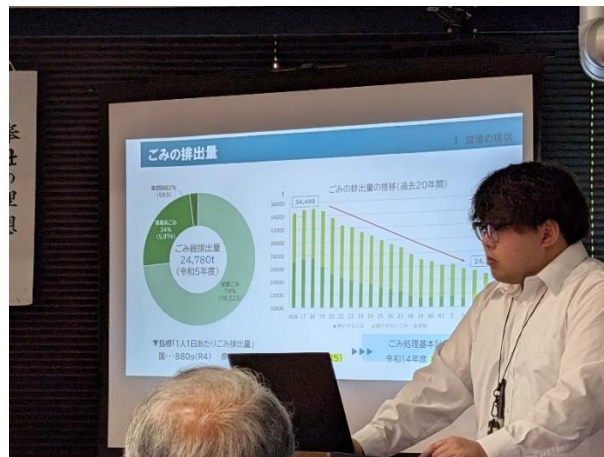


本題に入る前に地球環境課についてご紹介いたします。

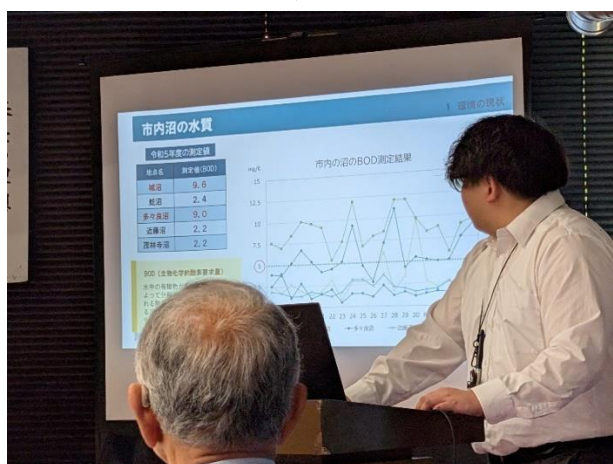


こちらのデータは環境省にて公表しております推計値をもとに作成したグラフとなっております。最新が令和三年度と少し古いデータになってございますが、ご了承

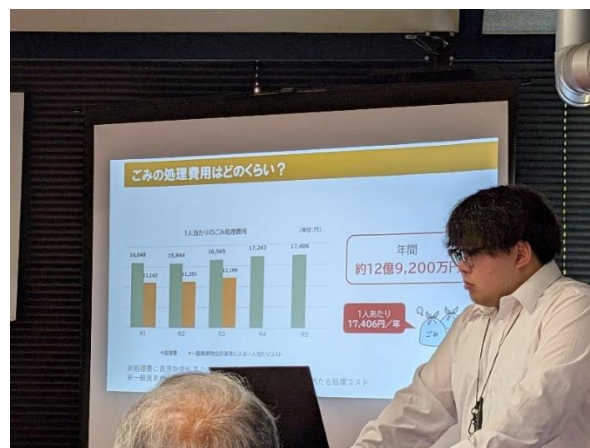
ください。左の円グラフでは、令和三年度の部門別排出量の割合です。多いところで、産業部門。ついで運輸部門となっております。比較的活動量が多い部門が上位となっております。家庭部門も約二割となっておりますが、自家用車から排出される二酸化炭素は運輸部門に含まれておりますので、家庭からも多くの二酸化炭素が排出されていることがわかります。右の棒グラフのほうですが、排出総量の推移になりますが、排出量は減少傾向にあります。赤い棒グラフは国の温室効果ガス削減目標でございまして、2013年度比で46%削減に準じたときの数値となっております。令和三年度から34%削減が必要となり、かなり努力が必要に数値となっております。続きまして、テーマは水質でございまして、



続きましてはゴミに関してでございまして。令和五年度における市内のごみ排出量総量は、24,780 トンとなりまして、そのうち 74%が家庭から出たごみになっております。24%が事業ごみになっております。ゴミステーションの回収も含め多くのごみが家庭から排出されていることがわかります。右のほうの棒グラフでは、ごみ排出量の推移を示しております。ご覧いただきますと右肩下がり年々減少してございまして、この二十年間で10,000 トン近く減少してございまして、ごみの排出量を比較する指標となります、一人1日当たりの排出量で見ますと、市では912グラムで、県の平均値よりは少ないですが、国の平均値よりは多くなっているという状況でございまして。市で策定しているごみ処理基本計画では、計画の最終年度までに、一人1日当たり804グラムを目指してございまして。まずは国の平均値を下回ることを目指してごみの減量に取り組んでいきたいと考えています。



左上に示している BOD 値ですが、生物化学的酸素要求量を取りまして、河川の水質汚濁を図る代表的な数値、値が大きくなるほど汚れがひどく、水が腐りやすくなることを示しております。水質汚濁を防止するために、水質汚濁防止法で環境基準値が定められておりますが、BOD 値の環境基準値は、一リットル当たり五ミリグラムとなっております。令和五年度の測定値ですが、城沼とつながる鶴生田川ですが、県内でもトップクラスで水質が悪い状態になっております。BOD 値をもとに過去二十年間のデータをグラフに示しておりますが、城沼、四角のグラフでございまして、こちらが基準値を一度もクリアできておりません。多々良沼のほうも、年によってバラつきはございまして、数値をオーバーしてございまして。水質は生活排水が五割から七割を占めていると言われておりますが、他にも水の滞留や、温度などの環境要因も関係しているため、難しい課題となっております。



ここで余談ではございまして、ごみ処理費用がどれくらいかご存知でしょうか。ごみの収集運搬等にかかる費用、ごみ処理施設における処理費用を合計しますと年間で12億9,200万円もの費用がかかっております。一人当たり換算しても、年間約17,000円と決して安くはない費用がかかっております。もちろん財源は税金ですので、ごみの量を減らせば費用も少なくなり、その分他の行政サービスに活用できることとなります。ごみの減量

化は環境負荷の低減につながるほか、コスト削減にもつながる重要な取り組みとなっております。



続きましてこれまでの現状を踏まえました市の取り組みをご紹介します。



市の最上位の計画の第 6 次総合計画の一番上になりますが、この総合計画の環境面からの達成のために各種計画を定めております。環境面の最上位計画の環境基本計画を始めに、市の事務事業にかかる温暖化対策をまとめた実行計画事務事業編。また水質汚濁対策となる生活排水処理計画。ごみの減量化を目指すごみ処理基本計画。こちらが主な環境に関する計画になってございます。これらの計画に則り、取り組んでいるものを同じく 3 つのテーマに分けてご説明させていただきます。



まず脱炭素につながる地球温暖化対策に関する取り組み

みでございます。市民向けの取り組みとして、蓄電池設備等設置補助金を実施しております。家に設置する定置用蓄電池、また移動型のポータブル蓄電池に加えて、今年度から V2H という電気自動車用の充放電設備も補助対象機器といたしました。この V2H は電気自動車やプラグインハイブリッド自動車に蓄電した電気で、家の電気をまかなったり、太陽光パネルで発電した電気を自動車に築電したりすることもできる、そういった機械となっております。公共施設の脱炭素化としては、再エネ設備の導入や電気自動車、ハイブリッド車の導入を現在推進しております。今ご紹介した 3 つの取り組みは地球温暖化による気候変動の緩和策に当たりますが、気候変動による暑さへの適用策として熱中症対策にも取り組んでおります。



昨年の夏から地球沸騰化という言葉が言われるようになるほど地球温暖化による気候変動の影響が大きくなっております。昨年の夏に取り組んだ熱中症対策で主なものをご紹介します。一つ目はクールシェア館林です。クールシェアとは、家庭におけるエアコンの使用を控え、公共施設や商業施設の涼しい場所を、これをクールシェアスポットと呼んでおりまして、皆さんでシェアすることで、省エネ、地球温暖化対策、熱中症対策に繋げる取り組みでございます。令和六年度の事業では、市、県、民間施設合わせまして 24 施設がクールシェアスポットとして参加いただきました。本年度は、アサヒ飲料株式会社群馬工場さんより、このクールシェアスポットの趣旨にご賛同いただきまして、クールシェアスポットとして登録のある 13 施設で熱中症対策飲料、アサヒスーパーH2O というものを 200 箱頂きまして、配布を致しました。そしてもう一つは熱中症の予防啓発セミナーの開催でございます。クールシェアスポットであるアゼリアモールにて連携協定を締結している大塚製薬株式会社さんを介して気象キャスターの天達武史さんを講師にお招きして、熱中症予防啓発セミナーを実

施いたしました。熱中予防啓発とクールシェア事業の普及啓発を目的として開催しまして、140 人の方にご参加いただきました。



続きまして、水質の浄化対策についてです。市内の汚水処理人口普及率というものが 82.3%と県平均の 79.5%より高い水準にあります。城沼とつながる鶴生田川は、県内でもトップクラスで水質が悪く、環境基準値に達していません。水の滞留や温度などの環境要因にも起因しますが、水質汚濁の原因は生活排水が五割から七割要因であると言われておりまして、生活排水対策は水質改善の重要な取り組みとなっております。そこで本市では、生活排水対策の一つとして、市民向けの合併処理浄化槽の各所補助金制度を実施しております。合併処理浄化槽の清掃補助のほか、汲み取り式から合併処理浄化槽に転換する際にも補助金を交付しております。トイレの排水の実を処理する単独処理浄化槽に比べまして、合併処理浄化槽は台所などの生活排水も処理できるため、合併処理浄化槽の普及は重要な取り組みの一つとなっております。その他にも市民団体による河川の清掃活動支援や、定期的な水質調査を実施しております。



続きまして環境保全という観点から補足でございますが、皆様クビアカツヤカミキリをご存知でしょうか。クビアカツヤカミキリは特定外来生物に指定されてお

ます昆虫でございまして、幼虫が桜の木の中に入り込んで、木の中を食べてしまいまして、空洞ができてしまい、桜を弱らせてしまいます。被害を受けた木は倒れてしまう可能性があるため、伐採することになってしまいます。このような被害から桜を守るために市では主に三つの取り組みを進めております。まずは、そもそもの個体数を減らすために市民協力のもと、クビアカツヤカミキリを捕まえる、撲滅プロジェクトを実施しまして、クビアカツヤカミキリの死骸を提出された方に奨励金を交付しています。こういったプロジェクト等で駆除したクビアカツヤカミキリは、令和六年度データですと、約一万八千匹に上ります。この数から換算しますと、四千本ほどの桜の木を被害から守れた計算となっております。また、被害を広げないために、市では防除ネットや殺虫スプレーを配布するほか、被害が出ている桜の木に対して専用の薬剤を注入することで、被害の食い止めを行っております。外来生物はもともと日本にいない生物です。生き物なので殺すのはかわいそうだと感じてしまう方もいるかもしれませんが、日本の春を感じさせてくれる桜を守るためにクビアカツヤカミキリを見つけて頂いた際には、その場で駆除を頂けますようお願い致します。



続きましてごみの減量化対策についてです。市民の方向けの補助事業としてごみ減量化器具購入費助成金というものを実施しております。生ごみ処理機については、乾燥させることにより生ごみの容積が七分の一まで減らせる優れた機械となっております。生ごみ処理槽、生ごみ処理容器、こちらはいずれも生ごみをたい肥化させることで、ごみの減量に繋げるものでございます。続いてごみゼロ館の運営です。こちらでは、ごみとして出された自転車、家具などリユース品を展示販売しております。令和三年から運営を開始しておりますが、年々来館者、入札数ともに増加しております。令和五年度で、総入札件数が九百四十二件ございまして、多くの方にご利用いただいております。さらに、本年度は、ごみゼロ

館を会場にして、リユースイベントを開催いたしました。こちらのイベントでは、ごみ処理施設に搬入されたもので、まだ利用できる衣料品の販売や、おもちゃぬいぐるみ等の配布などをこのイベントで行いまして、ごみ減量化を目的としたイベントを実施いたしました。ごみの減量化に向けて引き続き取り組みを進めてゆきたいと考えております。



本日いらっしゃる皆様到最后にご紹介して終りにしたいと思っております。



ご存知の方もいらっしゃると思いますが、市では令和二年に館林五つのゼロ宣言を致しました。群馬県でも、群馬五つのゼロ宣言を掲げておりまして、それに賛同した形で、館林でも宣言したものとなっております。本日水質やごみに関することも説明させていただきましたが、私たちの生活に大きな影響を与えている環境問題はやはり、地球温暖化による気候変動だと思われまます。目に見えませんが、見えないからこそ、影響を実感する機会は少ないかもしれませんが、日々確実に深刻化しております。そんな状況を打開するために市民の皆様、事業者の皆様、行政で共通目標としてこの五つのゼロというもの掲げております。頭の片隅にでもご記憶いただけますと幸いです。以上でございます。本日はありがとうございました。



矢島 孝昭 S・A・A

—本日のお食事—



海鮮丼

< 4月のお食事予定 >

- 第1例会 4/11 ハンバーグカレーライス
- 第2例会 4/18 チャーハン&餃子
- 第3例会 4/25 うなぎ

—伊勢崎中央 RC 創立 50 周年記念式典の様子—



- ◆例会日 毎週金曜日 12:10 より
- ◆例会場 ニューミヤコホテル館林 (館林市文化会館内)
館林市城町 3-1 TEL0276-50-1541
- ◆事務所 館林信用金庫本店内
館林市本町 1-6-32 TEL・FAX 72-8181
- ◆E:mail tatebayashi.rc@cc9.ne.jp

- 第 2840 地区ガバナー 森 末廣
- 会 長 関井 宏一 副会長 本島 克幸
- 幹 事 小堀 良武 副幹事 藤島 厚
- 会報 委員 齊藤 一則 森田 信一郎
- 発行責任者 関井 宏一 編集責任者 齊藤 一則